

平成22年度 活動報告

競技部 小田島 政勝

〔年齢別ダブルス大会〕

期 日 平成22年5月22日(土) 9:00~17:00 晴れ

会 場 七北田公園テニスコート 8面

参加者

	今年度	昨年度		120+	8組		110+	8組
男子	36名	46名	男子	130+	5組	女子	120+	7組
女子	43名	36名		140+	7組		130+	4組
合計	79名	82名		シニア	4名		シニア	5名

会 費 1200円(上位入賞者に商品・会員にお楽しみ賞)

大会要領 1. ラウンドロビン方式を基準とし、複数リーグは順位決定戦を行う。

2. 試合はノーアドバンテージ方式による6ゲーム先取

3. 各クラス毎の総当り戦(変則リーグ戦を含む)

4. シニアクラスは一試合毎のパートナーを変える

各クラス優勝者

男子		女子	
120+	大場 幸男・佐々木 宏昭	110+	倉中 敏子・高嶋 俊子
130+	斎藤 次郎・高橋 捷夫	120+	跡辺 清子・荻原 栄子
140+	太田 貞夫・松山 眞水	130+	梅崎 千枝子・松倉 千賀子
シニア	奈良 征一郎	シニア	菅野 志津子

大会を振り返って

5月に入ってから仙台は寒かったり風が強かったりと不順な天気が続いていましたが大会当日は正に絶好のテニス日和となり各クラスとも熱戦が繰り広げられました。参加人数は締め切り間際まで集まりが悪く心配しましたが、なんとか昨年並みの人数が集まりホットしました。開会式の中で行ってきた「準備体操」は昨年の10月の大会から各自にお任せすることとして取り止めてきましたが、残念なことに前回の大会[春季連盟祭り(団体戦)]で肉離れにより途中欠場した会員がいました。この“肉離れ”と「準備体操」との関連はともかく、役員会でも問題として取り上げ「準備体操」を改めて復活することとしました。今回は連盟副会長の佐々木宏昭さんの



ユーモア溢れる愉快的な「準備体操」がしっかり行われ大変好評でした。また今大会では種目の男子150・女子140を外して新たに「シニアクラス」がスタートしました。シニアクラスのスタートにあたり、参加者の集まりを心配していましたが、9名の参加をいただきコート1面をフルに使って一日楽しんでいただけたと思っています。

また、今大会からアンケートをお願いしました。ご協力ありがとうございました。今後の大会運営に役立てたいと思いますのでこれからもご意見をよろしくお願いします。

〔混合ダブルス大会〕

期 日 平成22年7月26日(月) 9:00~17:00 晴れのち大雨

会 場 泉パークタウンテニスクラブ 10面

参加者

Aクラス	16組	合計88名
Bクラス	18組	
Cクラス	5組	

シニアクラス	10名	
--------	-----	--

会費 1200円（上位入賞者に商品・会員にお楽しみ賞）

- 大会要領
1. ラウンドロビン方式を基準とし、複数リーグは順位決定戦を行う。
 2. 試合はノーアドバンテージ方式による6ゲーム先取
 3. 各クラス毎の総当り戦（変則リーグ戦を含む）
 4. シニアクラスは1試合毎のパートナーを変える

各クラス優勝者

【Aクラス】ブロック別成績（雨のため決勝トーナメント中止）

	赤ブロック		青ブロック
1位	渡邊 貞夫・石亀 幸子	1位	小谷 昭一・水戸 真理子
2位	新田 英昭・樋口 美也子	2位	加藤 精一・布留川三枝子
	緑ブロック		桃ブロック
1位	井澤 秀雄・木村 七枝	1位	松浦 真・櫻谷 恵美子
2位	菊池 繁夫・糸井 郁子	2位	坂本 政祀・西城 啓子

【Bクラス】ブロック別成績（雨のため決勝トーナメント中止）

	赤ブロック		青ブロック
1位	高橋 捷夫・西村 則子	1位	大山 邦夫・大山 真理子
2位	佐藤 信・篠田 幸子	2位	置田 輝雄・置田 真樹子
	緑ブロック		桃ブロック
1位	色摩 浩三・色摩 美津代	1位	中村 克宏・本野 ゆみ子
2位	奈良 征一郎・山崎 由美子	2位	菊地 功・郷右近 勝子

【Cクラス】成績（雨のため途中での順位決定）

1位	千葉 俊司・千葉 みちこ
2位	岡崎 孝治・八重樫 トモ

【シニアクラス】成績（勝数の多い上位5名）

斎藤 昭男	鎮田 英雄	但野 久雄	千葉 幸良	太田 せつ子
-------	-------	-------	-------	--------

大会を振り返って

混合ダブルス大会は夏真っ盛りの7月26日に“緑に囲まれたアーバンリゾートテニスクラブ”として知られる憧れの『泉パークタウンテニスクラブ』で開催されました。泉パークタウンテニスクラブでの公式大会の開催は、連盟として初めての試みであり、コート使用料も市営コートと比較してかなりの割高となることから役員会の中でいろいろな意見が出されました。昨年度に実施したWEEKDAY交歓会が好評だったことと佐々木正敬会計部長の「年度内収支決算上問題なし」とのお墨付きを貰ったことから、今年度は試行的に連盟の三大大会の一つである「混合ダブルス大会」を行うことにしたものです。しかし、パークタウン10面を借り切った大会であり、最後まで参加人数を心配しましたが、目標の100名に届かなかったものの、電話作戦等でなんとか88名を確保することができました。

大会当日の午前中はうす曇りで、時折真夏の太陽が顔を見せるものの心地良い風もあって、昨日までの“連日猛暑続き”を考えれば、まずまずの天気となり各クラスで熱戦が繰り広げられました。圧倒的に参加の多かったAクラスとBクラスは4ブロックに分けての総当り戦とし、各ブロックの上位2チームが決勝トーナメントで順位を決定することとしました。またシニアクラスはパートナーが1回ごとに換わる組合せとして、なごやかなスタートとなりました。

時間とともに気温がじりじりと上がり始める中、試合は各クラスとも汗ビショリで見応えのある熱戦が続きました。あまりの暑さに、今新聞・テレビで大騒ぎしている“熱中症”のことが頭をよぎり、段々と心配になってきました。

ところが、A・Bクラスの総当り戦も順調に進み、上位2チームによる決勝トーナメントが始まった2時頃ご

ろなって突然に西の空が真っ黒に変わり雷と大粒の雨が落ちてきました。あっという間にコートは水浸しになり、試合が停止され、全員がクラブハウスで待機となりました。少し天候の様子を見ましたが、結局、記録的な集中豪雨となってしまい、残り試合は実施不可能となり、Aクラス・Bクラスの順位は不本意ながらジャンケンによる決定としました。せっかく、泉パークタウンテニスクラブでの大会開催だったのに、最後まで試合を終了することが出来ず残念でしたが『こんなに暑い日に無理をすると倒れる人が出ますよ〜』とお天道様が恵みの大雨を落としてくれたのかもしれない。そして思い出に残る大会となりました。

〔技量別ダブルス大会〕

期 日 平成22年10月23日（土） 9：00～17：00 晴れ

会 場 七北田公園テニスコート 8面

参加者

	今年度	昨年度	男子	今年度	昨年度	女子	今年度	昨年度
男子	46名	36名	Aクラス	14組	6組	Aクラス	12組	9組
女子	42名	40名	Bクラス	6組	9組	Bクラス	4組	5組
合計	88名	76名	Cクラス	0組	3組	Cクラス	3組	6組
			シニア	6名	—	シニア	4名	—

会 費 1200円（上位入賞者に商品・会員にお楽しみ賞）

- 大会要領
1. ラウンドロビン方式を基準とし、複数リーグは順位決定戦を行う。
 2. 試合はノーアドバンテージ方式による6ゲーム先取
 3. 各クラス毎の総当り戦（変則リーグ戦を含む）
 4. シニアクラスは一試合毎のパートナーを変える

各クラス優勝者

男子		女子	
Aクラス	加藤 精一・新田 英昭	Aクラス	置田 真樹子・庄子 和恵
Bクラス	小谷 昭一・斎藤 次郎	Bクラス	梅崎 千枝子・松倉 千賀子
Cクラス	—	Cクラス	井坂 律子・森 佳子
シニア	菊地 功	シニア	渡辺 トミ子

大会を振り返って

7月に行われた「混合ダブルス大会」が大雨に見舞われて大変だったことから、三大大会の最後を飾る今大会はなんとしてもいい天気になることを願っていましたが、当日は朝から気持ちのいい天気となり最高のテニス日和となりました。

今大会はAクラスが男子14組、女子12組と圧倒的に多く、逆にCクラスは男子の申込が1組だけ（Bクラスに入ってもらいました）、女子は3組と少なく、過去の例のない特徴的な大会となりました。そして来年度以降の大会のあり方について課題を残しました。また、参加者の多いAクラスは“あみだ籤”によりブロック分けを行い各ブロック3位までが順位決定戦に進出する方式をとりました。



試合は「技量別大会」ならではの男女とも力の入った迫力ある熱戦の連続でしたが、男子Aは超Aの実力者同士がペアを組んだ加藤・新田組が圧勝、女子Aも置田・庄子組の安定した試合運びが光り、優勝を勝ち取りました。

今の時期は陽が落ちるのが早くなっていることから試合進行が心配でしたが、選手交代などがスムーズで少し薄暗くなってきた4時ごろには全試合を無事終了することができました。
ご協力ありがとうございました。

〔連盟祭り (団体戦)〕

期 日 平成22年11月6日 (土) 9:00~17:00 快晴

会 場 七北田公園テニスコート 8面

参加者

	今年度	昨年度
男子	28名	38名
女子	54名	51名
合計	82名	89名

会 費 1000円 (優勝・準優勝・敢闘賞の順に会員へ賞品)

- 大会要領
1. 参加者全員を4組 (赤・青・緑・桃) に分けて、女子・男子・混合の各ダブルス3種目による団体戦を行う。
 2. 各組の編成は、年齢別に並べて努めて均衡が保てるように工夫した。
 3. 試合はノーアドバンテージ方式による、1試合30分間の時間制限とする。

団体戦成績

	優勝	準優勝	敢闘賞	敢闘賞
	緑組	赤組	青組	桃組
勝数	28	21	19	15

大会を振り返って

大会当日は、朝から曇ひとつない秋晴れとなり気温22度、風もなく絶好のテニス日和となり会員の皆さんの声も一段と弾んで聞こえました。またコート周りの紅葉が正に見頃で“連盟祭り”に華を添えてもらいました。

今大会は男性の集まりが悪く、女性の約半分の人数となり、少しバランスの悪い編成となってしまいましたが、女子ダブルスを多くするなど、何とか全員が一日4試合出来るよう進行表を作成しました。また、団体戦の対戦表については、年齢のほか、過去の「申込技量クラス」や「大会成績」を加味したものとし、出来るだけ一方的なゲームを少なくするように工夫してみましたが、結果は上記の“団体戦成績”の通りで予想をはるかに超える大差となってしまい、改めて対戦表作成の難しさを痛感しました。しかし何人かの会員から『今日はいつもより面白い試合が多く、観ていても楽しかった』との声も聞かれ少しホッとしました。今後の団体戦のあり方についてのご意見などお聞かせ頂きたいと思っています。

最後に、いつもの事ながら、賞品やお楽しみ参加賞など準備された女性役員には、買い物や重〜い荷物運びなど、本当にご苦労様でした。



優勝：緑組の皆さん

1. 年齢別ダブルス大会(22. 5. 22) 晴れ 七北田公園テニスコート・8面

Q1. 今日の大会は、如何でしたか?

A1. よかった: 24人 ふう: 11人 不満: 0人

Q2. ご意見は!

A2. [試合進行・試合数]

- 進行が遅く待ちくたびれました(大変だとは思いますが・・・)。
- 試合は、いろいろなペアと対戦できて楽しかったです。
- 6ゲーム先取で4試合が出来たことが良かった。
- 初参加でしたが楽しくプレーできました。

[組合せ]

- 組合せが公平で4試合づつ楽しめる工夫がされて良かった。
- 新しいパートナーと組みました、毎回相手が違うので親睦になりました。
- プレースタイルの違う方々とゲームができて楽しかった。
- 男女関係なく多くの人と組合せて頂き楽しかったです。交流には、ベストです(シニアクラス)。
- ペアを固定せず、一日いろいろな方と試合を楽しむことが出来て、気楽で良かった。
- 所属しているクラブと同様に楽しい大会でした。もっと上手に出来るよう努力して出席します。

[大会準備]

- 最後に「お楽しみ抽選会」があるのが良かったです。
- いつも良く準備され、ご苦労様です。今後ともよろしくお願いします。
- シニアクラスを設けたことは、良かった。

[これからの大会運営へのご意見]

- 年齢別の「技量別大会」を計画してはどうか(60代、70代の技量別)。
- 年齢別の「団体戦」を計画してはどうか(男子D・女子D・混合Dの団体戦)。
- シニアクラスの参加者を増やしてほしい。
- 年齢別大会に150+の復活。
- これからの高齢者を考えると、シニアクラスの他に女子140+・男子150+を復活してほしい。
- 多少時間がかかっても対戦相手は、今まで通り当口抽選がいいと思います。
- ギスギスした大会ではなく、なごやかなムードを強調させていただきたい。
- ボールは、各コートに2缶づつ使用したら!
- 決勝トーナメントは、1位と2位の対戦(準決勝から)にしてほしかった。
- 各コートに試合順序を掲示してもらえると本部まで見に行く必要がなく助かる。

2. 技量別ダブルス大会(22. 10. 23) 晴れ 七北田公園テニスコート・8面

Q1. 今日の大会は、如何でしたか?

A1. よかった: 29人 ふう: 11人 不満: 3人

Q2. [試合進行・試合数]

- 天気・会場が良かった。
- 楽しく一日テニスをする事ができました。役員の皆様ご苦労様です。
- 「ノーアド5ゲーム先取」でスムーズに進行した。
- 実力伯仲の試合が多かった。
- ジャッジのマナーについて開会式で伝えてほしい。
- ゲーム数が少なかった。
- 6ゲーム先取をやってほしい。

[組合せ]

- ペアがないので単独で申し込みましたが役員さんのおかげで楽しみました。
- 実力がかたよった戦いでした。
- シニアクラスの全員対戦が良かった。

[大会準備]

- 役員の協力体制が見えたことが良かった。
- おみやげが嬉しいです。
- 駐車場で奥に入れて出られず。

[これからの大会運営へのご意見]

- 大会は、ウイークデーに開催したほうが良い、土日は、一般に開放すべきと思う。
- Aクラスを技量的にA-1、A-2に分ける。力の差がありすぎて楽しくない(年齢の差もある)。
- 技量別大会は、クラス別の申込でなく、申込まれた全ペアを4グループに分けてリーグ戦を行い、各順位毎のトーナメントを行う。
- 各クラスの参加者の中には、上位クラスであっても下位クラスに申し込まれている方がいて、対戦する方も戦意が削がれると思います。メンバー構成は、今までの成績も加味してほしい。
- 開会式をもう少し短くして試合開始時間を9時15分ぐらいにしてほしい。
- 5ゲーム先取では、少々物足りない。せめて1セットぐらいにして欲しいです。
- AとBのクラス分けの基準がはっきりしていない。何か基準があると良い。
(本人の希望もあり難しいかな?)
- これまでどうりで良いと思います。
- シニアクラスは、差があり、あいまいである。

アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

貴重なご意見をいただきましたので、これからの大会運営に反映していきたいと思います。

WEEKDAY交歓会アンケート集約 (今後の運営に反映)

齋藤 昭男・高橋 捷夫

提出：83名 (一回目：泉総合 H22.6.17 45名、二回目：泉パーク II22.8.16 38名)

Q1. 交歓会の回数 (9回実施)

A1. ①この程度=80人、②増やして=14人、③少なくして=0人

Q2. 会場の選択

A2. ①七北田 (利便性良い) = 74人、②泉総合 (利便性良い) = 67人、③泉パーク (利便性良い) = 52人

Q3. 会場別の利用

A3. ①七北田 (増やして) = 30人、②泉総合 (増やして) = 22人、③泉パーク (増やして) = 21人

Q4. ゲーム別パートナー変更を指導しているのですが

A4. ①指導のとおり変更=57人、②会員自主性に任せる=28人、③立ち入らない=17人

Q5. コート面の余裕

A5. 泉総合の5~6面確保=62人、②七北田4面はクラブハウスがある=51人

Q6. WEEKDAY参加費の引下げ (500円/回)

A6. ①参加しやすくなった=71人、②安くなっても変わらない=17人、③初めて知った=10人

WEEKDAY交歓会<改善点>

Weekday交歓会運営委員

今年度のWEEKDAY交歓会は、4~5月連続して雨で中止となり、また8月泉パークでも途中降雨となる等、雨にたたられた一年でした。そんな合間に、皆さんの生の声をWEEKDAY交歓会運営の参考にしたいと、アンケートをお願いし、参加者のほぼ全員から建設的な意見を添えた回答を頂きました。

これを踏まえて、出来ることから改善に取り組みます。差しあたって公営コート数を増やし、参加者の年齢構成を見計らって、シニア専用コートを確保いたします。

シニアクラスを希望する参加者は、ゆったりとゲームを楽しめるものと思います。

具体的には、「七北田コートの5面、泉総合コートの6面、移動道線を考慮して確保」「泉パークの8面」「南インターの4面」確保となります。※実施日は、年間行事予定表で確認してください。

平成23年度WEEKDAY予定表

		七北田公園	泉総合運動場	泉パークタウン	南インター
H23.	5. 26 (木)	◎			
	6. 16 (木)		◎		
	7. 12 (火)				◎
	8. 22 (月)			◎	
	9. 27 (火)	◎			
	10. 17 (月)		◎		
	11. 17 (木)		◎		
	12. 2 (金)	◎			
H24.	3. 22 (木)	◎			

WEEKDAY交歓会について

齊藤 次郎

交歓会は、月1回程度、開催いたします。

時 間： 5月・ 6月＝10時～17時 11月・12月＝10時～16時
 7月・ 8月＝ 9時～17時 3月＝10時～17時
 9月・10月＝10時～17時

コート： 5面から6面を確保

会 費：500円/回、自由参加

方 針：①知らない人と組んで楽しんで、頂きたいと思います。
 ②毎回、30人から60の方が、参加しております。
 ③もっと、大勢の会員が参加していただければ幸いです。

年齢別ダブルス大会の初優勝者の感激！

※〇〇 △△は、投稿された方です。

- ① 優勝の勝因、
- ② 日頃の練習、
- ③ テニス目標、
- ④ その他

【男子120歳以上】大場 幸男・佐々木宏昭

- ① 信頼関係に基づいたコンビネーションが良かったこと。
- ② 土・日・祝祭日にYTCクラブで4～5時間程度、ダブルス主体にゲームを楽しんでいる。
- ③ 先ず、宮城で行われる「ねんりんピック」に出場する事、又将来的にも「ねんりんピック」を目指す。
- ④ 出来るだけ長くテニスを楽しむため、又錬度を維持するために、暇を見つけては愛犬と共に足腰の鍛錬を30分程度やっております。

【男子130歳以上】高橋 捷夫・齊藤 次郎

- ① ペアと呼吸が合う、ペアに恵まれたこと。
- ② 筋トレ・ストレッチ及び壁打ちをほぼ毎日20分行う。平日はクラブで3～4時間試合を行う。
- ③ 各種の大会に参加したい。
- ④ 体が許す限り、テニスをしてボケ解消としたい。

【男子140歳以上】☆松山 眞水・△太田 貞夫

- ① ☆ダブルス戦です、組んで頂いたペアに恵まれたことです。
 (いつも利用している慣れたコートでもありました)
 △年齢別ダブルス大会に参加するのは、初めてのことでした。幸運にも、パートナーに恵まれまして勝つことが出来ました。私自身は、肩を痛めていたなかでの試合でした。最後のノーアドバンテージで勝敗がわかってしまう場面もあり、きびしい試合の連続で、苦しい大会でした。

- ② ☆私設のテニスクラブで、会員の皆さんに試合や練習をしてもらっています。
△日頃は、練習ということは決まっておらず、そして決まったテニスクラブにも加入しているわけでもなく、空いている公的テニスコートを借りて友人と遊んでいることが多いです。また、シングルス
の試合には興味があり挑戦したい気持ちを持っています。体力と健康の維持を図りながら一つでも多く試合に参加し、試合に勝つ喜びを味わいたいと思っています。
- ③ ☆どんな大会でもいいから年一回、優勝もしくは準優勝をしたいものです。(2位でもいいんです・・・)
△ず～っと以前、炎天のもと、泥まみれになって野球の練習をしていた時、少し離れたテニスコートから時折ボールの弾む「音」が聞こえてきました。軽やかで、ほのぼのとした心地いい、「音」でした。その時に、テニスをうらやましく思い、テニスに憧れを持ってしまいました。
- ④ ☆私の頭髮同様、ケガなく無理せず長くテニスを続けたいです。
△今でも、この「音」は、心地よく、丁度、ウイスキーを飲んでいるときの氷の「音」と同じくらい良い雰囲気です。

【女子110歳以上】 倉中 敏子・高嶋 俊子

- ① ペアとの信頼関係
- ② 基本練習・苦手なところの練習
- ③ 健康第一、長くテニスを楽しむこと。

【女子120歳以上】 ☆跡部 清子・△荻原 栄子

- ① ☆パートナーへの信頼とミスをしないうこと、プラス集中。
△ペアとのコンビネーション、ペアのおかげです。
- ② ☆コーチからのアドバイスをゲームに生かす。
△テニスクラブでの練習&時々レッスン。
- ③ ☆楽しいテニスを長く続けること。
△無理せず長く楽しくプレーが出来れば・・・。
- ④ ☆自分の持ち味で勝負する。
△始めの準備運動、終わりのクールダウンが大切だと思います。(最近つくづく思います。)



【女子シニアクラス】 菅野 志津子

- ① 今年からの新企画で、年齢別大会140歳以上の部は単独参加でしたので、1日多数の方々とのペアで楽しく気楽にゲームが出来た事でしょうか。
- ② 特にありませんが、自分なりのテニスが出来よう努力しています。
- ③ テニスを嫌いにならない自分でいたいです。

【男子シニアクラス】 奈良 征一郎

昨年より「三大大会」と「冬季混合W大会」に『シニアクラス』が出来ました。当連盟約280名の会員の40%（112名）がシニア（70歳以上）のメンバーです。その割には、各種大会の参加者が少なくなっています。試合の勝負だけでなく、これからもくながへくテニス人生を楽しもうという趣旨で新しい企画で新設されました。

その第一回大会として『年齢別ダブルス大会』に参加しました。10名のエントリーでしたが、毎回組み合わせを変えて楽しいテニスになりました。その後の『三大大会』で毎回10名以上の参加者が有ります。シニアクラス資格者の皆さん「ベテランの味」と「元気なテニス」を後輩に見せて、今後も長いテニス人生を謳歌しましょう。

技量別ダブルス大会の初優勝者の感激！

※〇〇 △△は、投稿された方です。

- ⑤ 優勝の勝因、
- ⑥ 日頃の練習、
- ⑦ テニス目標、
- ⑧ その他

【男子Bクラス】 小谷 昭一・斎藤 次郎

- ① パートナーとのコンビネーションがうまくいき、お互いのミスを上手くカバーし合えたこと。対戦相手と真っ向勝負出来たこと。

- ② ショート・ロングストローク、ボレー、サーブと基礎練習をし、上級者やいろいろなタイプのプレーヤーと試合すること。
- ③ これからも楽しくテニスをプレイすること。少しでも上手になれたらと思います。
- ④ 最近、コートが取り難くなっています。もう少しコート数が増える（特に冬場の室内コート）と良いですね。

【男子シニアクラス】菊地 功

- ① シニアクラスは、パートナーを変えながら男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルスを繰り返し試合していくやり方です。私は力量不足ですが、なんと言っても勝因は、良きパートナーと良い組合せの巡り合いが良かったことが要因でしょうね。
- ② ブルドンクラブに所属（会員男子20名）して練習しております。ブルドンクラブの目的は、テニスを通じて会員の親睦および健康維持と相互の友好を図ることを目的としています。20名の力量は、ほとんど差がないので楽しく練習ができます。みやぎいきいきテニス連盟の大会ではAクラス優勝者も3～4名程、おり同じ会員です。また、ねんりんピック出場者も10名程、おります。そうゆう環境の中で、切磋琢磨して練習に励んでいます。
- ③ 私は、シニアクラスですので、何んと言っても健康維持することが目標です。そして、体力衰退を少しでも補うことを心掛けて、あまり無理せず練習に取り組んでいますし、勝敗にもこだわらないようにと考えています。
- ④ テニスの練習中に転倒し、何ぞ転んだのかと考えました。その原因は、体力の劣えと、からだ全体が弱ってきたのが原因であると直感しました。そこで翌日より体力を增強しようと計画を立てて、陸上トレーニングを1時間30分程度、実施しました。その翌朝、起床から起き上がると身体中が痛って、どうも普通の痛みと内容が違うのです。早速、病院に行き、診察を受けました。あまり無理をして練習したからでしょう、痛みをやわらげる注射をしてもらいました。でも、痛みは、治まらず2～3日後には、起床から起き上がることも出来なくなり、市立病院に行き、そのまま入院し腰に仙骨ブロック注射をうってもらい、ようやく歩けるようになり退院。医者の診断は、椎間板ヘルニア坐骨神経痛でした。現在も左脚のシビレはとれず、歩行は可能ですが完全に走ることも出来ません。みなさんに言いたいことは、若い頃の体力などを考えずに、それぞれの年齢・体力に応じたトレーニングをして下さいと言う事です。

運動を三つに分けると、

- i) 過度の運動⇒プロ選手を目指している者、負荷をかけてのトレーニングなど。
- ii) 適度の運動⇒自分の年齢・体力に適した運動・内容にする。
- iii) 軽度の運動⇒柔軟運動・ストレッチ・歩行・軽ランニング・ラジオ体操など。

私は、i)とii)の中間でのトレーニングでしたので、脚腰に過剰の負担がかかったことが原因でした。

私のトレーニングの失敗ですので、皆さんは参考にして気をつけてトレーニングしてください。

【女子Aクラス】置田 眞樹子・庄子 和恵

- ① ☆ペアのカバー力のおかげが一番です。久しぶりのいきいきの試合・初めて挨拶する方ですので、適度の緊張感があり、楽しめたのが二番目でしょうか。
△単独で申しました、大会スタッフの方々の紹介で、とても上手な置田さんとペアになれた事です。
- ② ☆市の講習会を終えた人達で作っている、グループ（アクアマリン）で、月に4～5回はコーチにきついアドバイスを頂き、午後はアクアマリンの卒業生や私のような留年生で、お互いにボール出しをしたり、ミニ試合をして遊んでいます。
△練習は、月2回のレッスンを受けています。基本を大事にしたいです。後は、キッツで楽しく・楽しく、ゲームをして遊ぶ事です。
- ③ ☆テニスを始めたのが遅かったせいか、これまで故障もなく来ましたので、この先も膝や腰など不都合なくテニスを楽しめたらと思います。
△ケガをしやすい私です、ケガをせずに、ながく・なが～く、テニスを続けていきたいですね。
- ④ ☆「テニス+温泉+おいしい食事（お酒?）」今年もよろしくお願いします。
△ いつもお世話様です、よろしくお願いします。

【女子Cクラス】井坂 律子・森 佳子

- ① パートナーの井坂さんとお互いの長所を活かしたプレイができ、ミスが少なかった。
- ② 基礎練習とダブルス形式の練習。
- ③ いきいきの他の試合（年齢別ダブルス）にも挑戦したいです。
- ④ 優勝の記念写真、有難うございました！

【女子シニアクラス】渡辺 トミ子

- ① ペアを信用して、自分の持ち分を守る事と思います。
- ② 練習は、試合の様に。試合は、練習の様に。心掛けています。
- ③ 年齢が70歳を越えていますので楽しいテニス、自分に見合う大会があれば参加したい。
- ④ 年々老いて行きますので、楽しく参加できる企画をお願いします。

三大大会の過去優勝者

【年齢別ダブルス大会】

男子	120+	130+	140+	150+	シニアクラス
H22	大場幸男・佐々木宏昭	斉藤次郎・高橋捷夫	松山眞水・太田貞夫	—	奈良征一郎
H21	加藤精一・新田英昭	但野久雄・三浦邦夫	松山眞水・井澤秀雄	矢田慶治・石田哲也	—
H20	庄司信雄・新田英昭	高橋捷夫・田中 稔	加藤精一・村上 實	中村克宏・木林高利	—
H19	佐々木宏昭・庄司信雄	但野久雄・菊地 功	海野哲夫・村上 實	—	—
女子	110+	120+	130+	140+	シニアクラス
H22	倉中敏子・高嶋峻子	跡辺清子・荻原栄子	梅崎千枝子・松倉千賀子	—	菅野志津子
H21	糸井邦子・安藤伸子	千葉みちこ・石亀幸子	参加なし	菅野志津子・北野妙子	—
H20	遠藤慶子・水戸真理子	有賀昌子・添田恵子	梅崎千枝子・千坂三月	渡辺トミ子・北野妙子	—
H19	美村景子・庄子和恵	酒井俊子・後藤玉子	日黒祐子・荻原栄子	北野妙子・石垣晴子	—

【混合ダブルス大会】

	Aクラス	Bクラス	Cクラス	シニアクラス
優勝戦 雨天中止	赤：渡邊貞夫・石亀幸子	赤：高橋捷夫・西村則子	千葉俊司・千葉みちこ	斎藤昭男・鎮田英雄 但野久雄・千葉幸良 太田せつ子
	青：小谷昭一・水戸真理子	青：大山邦夫・大山真理子		
	緑：井澤秀雄・木村七枝	緑：色摩浩三・色摩美津代		
	桃：松浦 真・櫻谷恵美子	桃：中村克宏・本野ゆみ子		
H21	加藤精一・木野ゆみ子	菊地 功・倉中敏子	高橋捷夫・庄司清子	—
H20	佐々木宏昭・跡辺清子	樋口義修・庄子和恵	和田忠彦・桜田世津子	Dクラス
H19	佐々木宏昭・布留川三枝子	加藤精一・大澤弘子	海野哲夫・石橋りつ子	佐藤富男・太田せつ子

【技量別ダブルス大会】

男子	Aクラス	Bクラス	Cクラス	シニアクラス
H22	加藤精一・新田英昭	小谷昭一・斉藤次郎	—	2位：菊地 功
H21	坂本政記・新田英昭	石田哲也・阿部昭彦	今野亀一郎・斎藤昭男	—
H20	保志則行・片平信行	土生 寛・三浦邦夫	—	—
H19	松山眞水・新田英昭	菊地 功・石田哲也	—	—
女子	Aクラス	Bクラス	Cクラス	シニアクラス
H22	置田眞樹子・庄子和恵	梅崎千枝子・松倉千賀子	井坂律子・森 佳子	
H21	大槻律子・谷まゆみ	郷右近勝子・高橋千代子	梅崎千枝子・樋口美也子	
H20	千葉みち子・山崎由美子	佐藤勝子・千坂三月	阿部ちづ子・佐藤みつ子	
H19	西城啓子・庄子和恵	千葉みち子・山崎由美子	海野哲夫・梅崎千枝子	

〔対いわきVTC親善交流大会〕

期日：平成22年9月25～26日 雨⇒曇り⇒晴れ 会場：グリーンピア岩沼テニスコート6面雲の流れが速く、ポツリポツリと、時にはサラサラと、雨が降り、「暴風域を巻き込んだ台風12号が正午過ぎ宮城県に接近、勢力を維持したまま三陸沖を北上する」との予報の状況でした。

「大雨と風」を覚悟のうえで準備作業を進め、体育館でのミニテニスの検討に入るものの、それでもあきらめず、結論は開会式まで持ち越されました。参加者のほぼ全員が「途中で中止となっても外のコートでプレーをしたい」との思いが強く、雨の中での試合が予定通りに始まりました。ところが雨はいつしか止みだし、予報と裏腹に「台風12号は仙台に近づき、急速に進路を真東に変えた」のニュースでした。試合が終わる夕方まで曇り空で、風のない絶好のコンディションとなりました。ついに「みやぎいきいきテニス連盟」のパワーが台風を吹き飛ばしてしまったのです。

夜の懇親会は和田会長挨拶のあと激戦の試合談義、輪ゴム通し、ジャンク大会などの盛りだくさんのアトラクションで笑いと歓声の渦の中で、華やいで賑やかな懇親会が催されました。

「いわきVTC」からの差し入れの酒を飲みましょうとの触れ込みで、5人部屋に50人ほど体を寄せ合い、肌で感じた二次会が始まり、中座する人もなく、23時まで試合の成功&失敗話しを交えて飲み交わしました。眠りについても何処からか大談笑が聞こえてきました。少し時間がたってから三次会の誘いで、起きだして会場へ出向いて、夜の2時頃まで飲み会をした人もいたようです。

2日日はカラリと晴れた風もない「テニス日和」となりました。何事もなかったように皆さんはグットテニスプレーヤーに変身しておりました。動きは軽快、ナイスプレイが随所に出てきました。パワー溢れる豪快なテニスで台風を退散させてしまいました。(なお、私は初日に足がツリ、二日目の第一試合で遭えなくタイヤとなりました)閉会式は全員でアイスクリームを戴き(ジャンク大会優勝者の差入れ)、最後に「いわきVTC」の皆さんを人手アーチと「今日の日はさようなら」の合唱で見送り、締めくくりました。

ホテル関係者の方々が「全て上手くいき良かったね」と喜んで声を掛けてくれたのが印象的でした。実り多き1泊2日の親善交流大会でした。

試合の方は、みやぎが〇〇勝〇〇負で、今年も「いわきVTC」の勝ちとなりました。いつしか「みやぎいきいきテニス連盟」が勝たなければと・・・と思いつつ。

いわきVTC会長からお礼手紙

第24回交流大会役員及び参加会員の皆様、本当に有難うございました。台風12号と共に、グリーンピア岩沼に向かい完全にテニスを諦めていた私共21名は、「一試合でもいいからプレーしたい」という気持ちで、今回の交流戦に望みました。懇親会では、初参加が10名余りあり各人、それぞれに交流会の意義を感じ取った事でしょう。閉会式では、佐々木様より「本日より担当がいわきに移る」言葉があり、又、館内氏が来訪し「来年は行きます」という言葉を頂きました。

第一日目終了後、「今のままでいいものか」という意見があるので、検討して欲しい旨がありました、貴連盟に支障が無ければ、今後共、交流会の続行を希望いたします。



〔県南ブロック交流会〕

テニスの大好きなシニアの人達が、気楽に参加できるプレーの機会を、仙台市のみならず県全体に広げてゆきたいとの思いから、平成19年度にスタートした交流会も、4年目10回を数えました。今年から交流会の大会要領は、「みやぎいきいき連盟」会報に掲載され、会員の皆様にもご協力いただくことになり、今年度に3回を実施しました。

第1回 4月9日(金) グリーンピア岩沼 5面使用

桜もまだ蕾のテニスシーズン始めに、男子19名(県南12名)女子16名(県南6名)の総勢35名(初参加4名)の参加を得て、一日中楽しくプレーをしました。

第2回 8月6日(金) 蔵王スポーツランド 4面使用

避暑をもくろんでの企画でしたが、朝から30℃以上の異常気象の暑さの中で熱いプレーを繰り広げました。参加者は、男子22名(県南15名)女子15名(県南1名)の総勢37名(初参加9名)

第3回 11月19日(金) グリーンピア岩沼 5面使用

テニス日和となり、1年間の練習成果を発揮すべく、ハッスルプレーが多く観られました。

参加者は、男子22名(県南14名)女子12名(県南4名)総勢34名(初参加3名)

今年は、予備日を取っていなかったが、天候に恵まれ参加者も30名以上で、初めて参加された人が約1割もいました。仙台中心の赤組、県南中心の白組、の対抗試合を行いました。

成績は、第1回が赤9勝-白11勝、第2回が赤9勝-白19勝、第3回が赤11勝-白16勝と、県南が勝利し「県南の力量」も徐々にアップしてきているように思えます。

この4年間の活動を振り返ってみると、参加者は、名取から白石まで全市町村から集まり、初心者が多く仙台関係者のご協力もあり、30名以上の参加者が定着しました。初期の目標が達成されつつあると思います。また、素晴らしい技量の人も多くいるので、これから地域の活動のみならず、活動範囲を広げた県レベル・東北レベルでの活躍にも期待したいものです。

最後に、「元気のない日本の現状」を見るにつけ、テニスというスポーツを楽しむことの出来る、恵まれた環境におります私達は、次の子供たちに、あるいは、身近な人達に、このテニスの楽しさを知ってもらい、元気に頑張ってもらえるように、お手伝いしたいものです。



〔県北ブロック交流会〕

期 日 平成9月30日(木) 曇りのち晴れ

会 場 松島運動公園コート 4面

参加者 66名

会 費 1000円〔コート代・ボール代・昼食代(豚汁・餅・果物)・写真代ほか〕

昨年と同様、松島町の運動公園で行いました。天候が午後より雨の予報で心配でしたが、昼ごろから薄日がさす天気になり無事完了しました。今回の参加者は、昨年より多い66名で大変感激しました。

対戦組合せは、昨年の反省をし、対戦相手及びパートナーが変わるように苦心して作成しました。まだ若干の問題もありましたが、前回より向上したと思います。また、参加者の都合等で組合せ、パートナーが変わり合計64試合で完了しました。

対戦成績は、いきいき(仙台)の34勝21敗9分でしたが、交流としてまずまずではないでしょうか。また、初の参加者もあり、交流会の輪が多少なりとも、広がり初期の目標が達成されたと思います。

初参加の県北ブロック交流大会！

高橋 久美子

大会当日、風がやゝあったものの、晴天に恵まれた会場の松島運動公園には、テニスが大好きな「いきいきメンバー」の明るい声ははじけていました。

以前より、“県北大会は、ゲームはもちろん楽しいけど、お餅や豚汁を出してくれて、また、それがすごく美味しいのよ～↑↑↑”と先輩から聞いていたので、私も楽しみにしていました。

普段、対戦しない人達とのゲームも緊張感があり、楽しくボールを追いかけた一日でした。そして、もちろん、お餅・豚汁・果物等、青空の下で歓談をしながら・・・うう～ん、美味しかった！！評判どおりの美味しさでした。

年々、増える参加者の対戦表作成など、いろいろご苦労もあるかと思いますが、県北の皆様方の心遣いがとても嬉しい大会でした。次回を楽しみにしつつ、テニスのレベルアップと健康維持に努力したいと思います。県北の皆様、ありがとうございました。



宮城いきいき連盟県北交流会記念

平成22年度 東北マスターズ秋田大会に参加して

田中 稔

紅葉に若干早い大変晴天に恵まれたスポーツの季節の10月6日(水)～7日(木)に秋田県立中央公園庭球場において、第20回東北マスターズテニス大会が開催され、これに参加してきましたのでご報告いたします。

会場となった秋田県立中央公園は秋田市街地から南西方向に20kmぐらい離れた、秋田空港の近くにありました。この公園は秋田空港周辺の騒音緩衝地帯として造成され、1984年にスポーツゾーンなどが完成したとのことです。このスポーツゾーンには野球場や陸上競技場が二面のほか、屋根付きグラウンド、アーチェリー場、トレーニングセンターや東北最大級のフィールドアスレチックなどのほか、秋田スカイドームと言う室内グラウンドなどがあり多くのスポーツを楽しむ方々にはとても快適な場所のようです。テニスコートも広く、通路を挟んで片方10面、左右合わせ20面のオムニコートがあり、それも一箇所に集約されているため、試合進行の号令や進行状況の把握なども中央の監視所で出来るなど機能的な作りになっていました。はじめチョット飛行機の音が慣れないと気にかかる場合がありますが、少し離れた所に、コンクリートで作られた広い壁打ちがあり、ここなら音で苦情もなく思い切り練習できると思いました。

今回の参加選手は、209名(男子138名、女子72名)でした。宮城は最も少なく13名で、最も多いのは、地元の秋田86人でした。参考まで、各県の参加者は青森17名、岩手24名、山形20名、福島49名であった。宮城は男子130歳以上に菊池昭男・加藤精一・高橋捷夫・高橋功・田中稔の5名、男子150歳以上に上生寛・和田忠彦・海野哲夫・村上實の4名、女子110歳以上に渡部静江・山崎由美子、女子120歳以上に後藤としこ・高橋久美子(敬称略)が参加いたしました。

試合は、一試合30分6ゲーム先取ノード方式でした。第一日目は、開会式の後に10時30分から始まり、美味しい弁当を食べながら15時30分まで175ゲーム(全体の約6割を消化しました)。

試合後は会場から北上し市街地の『川反』から4km上流の河畔のどかな里山に建つ『秋田温泉さとみ』に移動しました。この宿は秋田美人をつくった神秘的天然温泉と四季折々の料理が自慢の宿とのことでした。入浴後6時半から懇親会が開かれ、テニスを愛好している秋田県知事の奥さんも参加され、竿灯や太鼓・踊り、また各県からも色々御披露があり、宮城からは、和田団長始めチーム全員で懐メロを歌い、各県の選手と遅くまで秋田の美酒と料理と余興を楽しみました。

翌日は、9時半から始まり、残りの試合と各ブロックから勝ち進んだペアと順位決定戦が行われました。戦果は、宮城の参加が少ない割合には好成績を収めました。結果をご紹介しますと、次のとおりです。

○女子110歳以上 準優勝 渡部 静江・山崎 由美子

○男子150歳以上 優勝 土生 寛・和田 忠彦 三位 海野 哲夫・村上 實

○男子130歳以上 準優勝 高橋 捷夫・田中 稔 三位 菊地 昭男・加藤 精一

今年(平成23年度)の大会には是非多くの方が参加して、青森の美味しいお酒を楽しみましょう。



「光る汗！輝くいしかわ笑顔の輪」のテーマを掲げ、テニスはもとより囲碁や剣道など19種目のスポーツ、5種目の文化交流大会に多くの競技者が集い、熱烈な祭典に参加したことは意味深いものがあり、皆さん、60代からにして誠に生き生きと人生を過ごされているのか、感動するものがありました。

大会は、金沢市とその近郊を主たる会場とし、開会式は、石川県西部緑地公園陸上競技場で、小雨煙る中、加賀百万石の威信をかけた「いしかわ歴史絵巻」が展開され、子供から熟年の方に至るまで、石川県民総勢を上げての歓迎の意図が伺われました。テニス交流大会は、金沢市内にある、県営と市営の二つの会場で、全国から68のチームを迎えて行われました。

試合を振り返りますと、宮城県の予選リーグは「福岡市、東京都、神戸市」と強豪との対戦でした。石川の地に足を踏み入れる前から、苦しい試合が予想されるとの下馬評ではありました。がしかし、今回出場の宮城県選手団の戦いに挑む勢いとこれまでに培った力量は遥かにこのプレッシャーに打ち勝ちました。

予選リーグ戦は17ブロック、各チームで1位から4位まで決めます。初戦、福岡市との試合では、60代男子、女子チームが勝利し2対1で勝ち点1。第2戦の神戸市との対戦では、70代男子、60代女子チームが勝利し2対1で勝ち点2。第3戦となった東京都では、60代男子チームの勝利のみとなり苦杯を強いられましたが、どの試合も大きな声援と勢いで善戦したのが私達の喜びでした。結果予選リーグは第2位となり、おいしい祝杯を頂くことができました。

翌日、10月11日（月）の決勝トーナメントは、2位グループは市営コートに会場を移し、17チームのトーナメント戦に入りました。天候は青空が広がり、昨日の雨模様とは打って変わってのテニス日和、祝杯に後押しされていざ出陣。1回戦の相手は昨日予選リーグで千葉県との素晴らしい試合を隣のコートで展開していた「山口県」です。さすがに2位リーグに上がってくるだけのチームで、どの年代でも正確なストロークとラケットコントロール。スピン、スライスボールの切れの良さ、我らが宮城県も負けてはいませんが、動きと正確さに翻ろうさせられました。どの試合をとっても手を握る試合でしたが、1試合も勝てず惨敗。

試合には反省点も多いのですが、正確なショット等には学ぶべきポイントもまた確かに教えてくれました。決勝戦の1位、2位グループを見学して感じたことは、グループ別に確かなテニスの巧さが心身ともに見られたことでした。今回、交流大会に出場した我らが「宮城県チーム」のテニス技術力、体力など力量は全国的に2位グループにあってよい位置と見てきました。今後続く皆さんには励みになれば幸いです。交流大会が盛会のうちに幕を閉じた後、兼六園や金沢城公園、武家屋敷跡など見学、また、新鮮な食材の宝庫でもある金沢の市場にも足を運び食事などを頂き、石川県の魅力を堪能できたことは、これもまた喜びでありました。

重ねての楽しみは、宮城に帰ってからの反省会でした。予選リーグが強豪チームであることから、勝ち点を得たら遠刈田の温泉地に自宅を持つ、今回の代表メンバーでもある色摩宅を会場に温泉につかりながらの反省会をやるのと、勝手、迷惑な話しが現実のこととなり、11月13日（土）視察を兼ねて応援を頂いた、県庭球協会の青木さんを交えて反省会を持ちました。手打ちの新そばや自分で釣り上げたヤマメの燻製等、ご夫婦の手料理を頂き、星の見える露天風呂で語り合い、実りある反省会は、菊池（繁）さん、土生さん、菊地（啓）さん、岡田さん、ねんりんピックに参加した選手との熱い友情を深めてくれました。皆さんに感謝いたします。

【予選リーグ】

【2位トーナメント】宮城県0-3山口県

Jブロック	福岡市	東京都A	神戸市	宮城県	順位
福岡市		1-2	3-0	1-2	3
東京都A	2-1		3-0	2-1	1
神戸市	0-3	0-3		1-2	4
宮城県	2-1	1-2	2-1		2

宮城県チーム 監督 菊地 啓子

男子70歳以上：菊池 繁夫・土生 寛、女子60歳以上：菊地 啓子・岡田 ナナ

男子60歳以上：色摩 浩三・泉 善雄



ねんりんピックについて

宮城県テニス協会常任理事 青木 興一

平成24年10月に宮城県で、「ねんりんピック宮城・仙台2012」が開催されます。このための準備が、昨年からスタートしております。

ねんりんピックとは、どんなものなのでしょうか？

正式には、「全国健康福祉祭り」と称し、60歳以上の高齢者を中心として、あらゆる世代の人達が楽しみ、交流を深めることが出来る総合的な祭典です。ねんりんピックは、厚生省創立50周年を記念して昭和63年（1988年）の第1回ひょうご大会以来、毎年開催されています。卓球・テニス・囲碁・俳句などの各種交流大会や、美術展・音楽文化祭・健康に関するシンポジウム・健康福祉機器展示などに加えて、開催県をあげてのおもてなしなどを通じて、地域や世代を超えて参加者の交流の輪を広げようとする一大イベントです。参加したら、ついでに足を延ばして旅行気分を味わうのも、人によっては、大きな楽しみとなります。主催は、厚生労働省・開催地の県・政令指定都市の他、長寿社会開発センターとなっています。

選手として参加するには、どうすれば良いのでしょうか？

都道府県、政令指定都市ごとに、大会に出場する60歳以上の選手団が結成されます。宮城県の場合は、宮城県社会福祉協議会が県の選手団の募集・派遣を担当します。実際は、県の各種競技団体（テニスは宮城県テニス協会）に委託し、派遣選手の選考を要請し、推薦を受けた選手でチームを作り派遣します。選考大会は、毎年春の「宮城県テニスマスターズ春季大会」で選考することになりますが、該当者がいない場合は、前年「宮城県テニスマスターズ秋季大会」から選考されることもあります。選考に当たっては、仙台市以外在住の方が優先されますが、条件によっては、仙台市民も選ばれます。

仙台市では、高齢企画課が毎年10月初旬頃に仙台市の各種競技団体（仙台市テニス協会）と共催で行う「仙台市高齢者いきがい健康祭り」での成績優秀者を選手として派遣することとなっております。毎年8月中旬頃には、「仙台市高齢者いきがい健康祭り」開催要領が発表され、仙台市の各区役所・公民館・スポーツ施設等にパンフレットが置かれます。これを見て、参加してください。

テニスの試合方法は？

テニス競技は、「男子70歳以上ダブルス」「男子60歳以上ダブルス」「女子60歳以上ダブルス」の3組でチームを作り、合計3ポイントで他県等と競う団体戦となります。選手の選び方は、宮城県・仙台市とも3組の団体を選ぶのではなく、種目別に選ばれた選手でチームを作ることとしております。

テニス試合では、全国の都道府県・政令都市の代表68チーム（宮城大会の場合72チーム）を4チーム毎のブロックに抽選で分けます。試合の1日目は、それぞれのブロック毎に総当りリーグ戦を行い、順位を決める。2日目は、ブロック毎の順位により、1位グループ・2・3・4位グループとそれぞれトーナメントを戦います。試合は、70歳以上男子・60歳以上女子・60歳以上男子の順に行われ、それぞれノーアドバンテージ方式・4ゲーム先取マッチ（3-3の場合は、7ポイント先取のタイブレーク）です。試合中のイン・アウトの判定は、選手が行いますが、SCU（審判）から見て間違っていると判断された時は、覆される事があります。（抗議が出来ますが最終的に従わざるを得ません）

スコアアナウンスは、審判が行います。注意しなければいけないのは、審判がフットフォールトを見ているので、サーブ練習は、しっかりしておくことです。

天候の悪い場合などは、大会の会場の都合により色々なケースがあります。担当のディレクター、レフェリーが最善の対応策を用意しております、最悪の場合では、二日間テニスが出来なかったこともありました。

今年の熊本大会（10月15～17日）への選手選考は？

宮城県の場合は、今年4月30日（土）シェルコムせんだいの「宮城県テニスマスターズ春季大会」で行います。詳しい要領は、宮城県テニス協会のホームページに掲載されます。

仙台市の場合は、昨年「仙台市高齢者いきがい健康祭り」の結果により決定しております。

来年の宮城大会への選手選考は？

宮城県の場合は、来年4月「宮城県テニスマスターズ春季大会」で選手の選考となります。該当者がいない場合は、今年11月27日（日）「宮城県テニスマスターズ秋季大会」の結果から選考します。

仙台市の場合は、今年10月初旬の予定される「仙台市高齢者いきがい健康祭り」での選考となります。

開催地では、3チームまで出せるので、県・市とも今のところ3チームずつ出せそうなので、多くの選手が出場できる見込みです。少なくとも、1チームは、大会結果から選ばれますが、その他は、推薦団体の判断によると考えられます。

宮城大会での選手以外での参加方法は？

選手の他に、大会を運営するために色々な仕事があります。大会の運営をスムーズに行うための運営スタッフです。中でも多くの人数を必要とするのが審判員とコート内でのボールパーソンです。審判員は、C級ライセンスを持った人が必要です。宮城県では、不足しております、このため、平成23年中に、養成講習会を開き、資格を取って貰いたいと準備を進めております。「みやぎいきいきテニス連盟」会員の皆様、この機会に是非とも資格取得をお願いいたします。講習を受けるとテニスの見方、楽しみ方が、ひと味違ったものになると思います。ボールパーソンは、試合中のボールが他のコートに行かないように、注意するなどの速い動きが必要なので、どこの会場でも若い人にやってもらっています。その他、試合の進行状況を見てスムーズに試合進行を計る、結果の記録整理をして、次の試合の準備するなどの役割があります。会員の皆様に、様々なご協力をお願いすることが出ると思います、よろしくお願ひします。

参加するには、どれくらいの費用がかかるの？

宮城県の代表と仙台市の代表では、違いがあります。

宮城県の代表の場合、社会福祉協議会の方から選手に支給されるものは、式典用のユニフォーム一式、試合会場までの交通手段、開催地での交通バスとなります。帰りの交通費、食費を含む宿泊費は、自己負担となります。仙台市の代表の場合、会場までの往復の交通手段、前泊の費用、開催地での交通バスとなります。ユニフォーム、2～3泊日の宿泊費等は、自己負担となります。

宮城県の場合は、仙台市以外の選手の場合には、居住する市町村から全国大会に代表として参加するという事で申請すれば、助成金が出る場所が多いようです。開催時期が、行楽シーズンなで宿泊場所の確保が困難な場合が多いためか、大会の公式旅行社が提示してくれる、旅館・ホテルは、割高で当り外れが大きいようです。会場の近くに交通手段を含めて自分たちで、よい宿泊手段が確保できれば、楽しい旅行気分です試合に臨むことが出来ると思います。（いしかわ大会に参加しての、泉さんの記事を参照してください）

ねんりんピック推薦基準

1. 全国健康福祉祭り（ねんりんピック）テニス参加選考基準に準拠する
 - (1) 前年度参加者、過去2回テニス大会での参加者は参加できない。
 - (2) 70歳以上は参加回数の制限はない。
 - (3) ただし、ねんりんピック開催地の場合は上記の制約を解除される。
2. 推薦対象者
 - (1) 宮城県居住者（政令都市仙台市居住者を除く）で、年齢基準を満たす者。
 - (2) 開催年度の最終日（開催の翌年4月1日）における満年齢が、60歳、70歳以上であること。
 - (3) 宮城県テニス協会主催「ねんりんピックテニス選手権大会」（春、秋季テニスマスターズ大会）に参加していること。
3. 種目
 - (1) 女子60歳以上ダブルス 1組
 - (2) 男子70歳以上ダブルス 1組
 - (3) 男子60歳以上ダブルス 1組
 - (4) 監督（選手を兼ねることができる）1名
4. 推薦基準
 - (1) 上記2項の各項に当てはまる。
 - (2) 「ねんりんピックテニス選考大会」（宮城県テニスマスターズ春季・秋季大会）の優勝者。準優勝者であること。ただし、前年度に行われる秋季大会は参考資料とし、春季大会の結果を優先する。
 - (3) 特例として、県内の競技人口を考慮し、宮城県居住者の組で該当者が居ない場合は、宮城県居住者および仙台市居住者の組に置き換える。
 - (4) (3) 項でも不足する場合は、女子、男子65歳以上の出場者を含め仙台市居住者で成績優秀者から充当することが出来る。この場合も次の順により、主管団体からの推薦により決定する。
 - 1) 宮城県居住者を含む組
 - 2) 仙台市居住者同士の組
 - 3) 以上で決まらない場合は、主管団体の推薦による
 - (4) 監督については、1項、および2項(2)を満たす者で、選手と交流がある人の中から選定する。（選考大会に出場していなくても可）。ただし、監督は、選手に事故があった場合には代わりに出場できる者であること。
5. 推薦者については、主管団体の判断を尊重し県テニス協会決定する。

平成22年度新会員の紹介！

- ① テニスを始めた頃（キッカケ）
- ② テニスの思い出話し（体験談）
- ③ テニスの楽しみ方（健康法）
- ④ その他（テニスに関する事）

横尾 和男

- ① 私がテニスを始めたのは、不惑の歳40才のときでした。埼玉県立川口北高校に転任したこの年に硬式部の顧問となり、近くのテニススクールに通いながら、少しずつ身につけていきました。テニスをやり始めてから徐々に体力がついて、苦手だった長距離走も何とかこなせるようになり、1989年浦和高校に転任した50才のときに、浦高伝統の古河マラソン50kmを何とか走破することができました。これは、すべてテニスをやって心肺機能が高まり、体力がついたお蔭だと思っています。
- ② テニスの個人的な成績は、大したものはありませんが、在職中の1989年度埼玉県教職員テニス大会で浦高の同僚と組んで三位になったのと、2000年に定年退職して、ふるさと宮城に戻り蔵土町テニス大会（シングルス）で決勝まで進みましたが、白石の高橋正樹さんに破れ二位になったのが、思い出に残る試合です。それから2007年4月に宮城県マスターズテニス大会で色摩浩三さんと組んで二位になったのが、私のベストテニスだったと思います。



- ③ 私は、問もなく72才になりますが、テニスは年老いてもそれなりに楽しめるとても面白く、しかも健康に良いスポーツだと思いますが、かえってストレスが残る場合があります。そうならないようにするには、紳士的態度を忘れず、パートナーは勿論のこと、対戦相手に対してもエチケットをわきまえ、常に明るく楽しいテニスを心がけることだと思います。
- ④ 私は数年前、再び埼玉にもどりましたが、自然豊かな宮城で、これまで通り皆さんとテニスを楽しみたいと思いますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

松倉 千賀子

- ① まだ30歳代の頃、石川県小松市の公園で、年輩（当時の私から見たら）の人達が楽しんでテニスしているお仲間に入れていただき、何もわからない私に、ネットの前で立ってなさいと・・・立っていたのみが何年かして、コートの中を真っ黒になって、若さだけでボールを追いかけていました。
- ② その後、何回も引越しを重ねた私には、テニスが良い媒体となり、その土地の人達と仲良くさせていただきました。テニスしてて、良かったな～と思ったものです。
- ③ 仙台に来て、一年後に縁あって、いきいきテニス連盟に入れていただき、見る人見る人とてもテニスが上手に写り、竦（すく）む思いでした。そんな私に大先輩の梅崎さんに声をかけてもらい、手とり足とりで年齢別・技量別大会と優勝することが出来ました。感謝・感激でした。主人に、大きな顔でワインを渡したものです。
- ④ このような大会をお世話していただき役員の方、会員の皆様、これからも宜しくお願いします。

森 佳子

- ① 子供が幼稚園に入った頃、友達に誘われてテニス教室に通い始めました。
- ② 運動が苦手だったので、こんなに長く続くななんて思いませんでした。良き指導者や仲間巡りに巡り合えてラッキーです。
- ③ 無理せず、マイペースで長く楽しみたいです。
- ④ いきいきテニスは、年間行事が多く楽しいです。入会して良かった！

中村 武宏

- ① 今は昔、軽井沢を旅行中に女性のスコートに眩暈（ゲンウン：めまい）を感じて。
- ② 会員の皆様の「ロブ」には、虹の如く人生の輝きを感じます。
- ③ テニスを楽しむために、諸々の誘惑に打ち勝つ事（負ける事多し）。
- ④ 昨年、8月の試合中「ケガ」で華々しくデビューした小生ですが、成人式をたった3回と3歳と若輩者ですので、何卒ご指導の程宜しく願いいたします。

波田 隆男

- ① 1964年東京オリンピックの年、山口県萩市の田舎から大阪の企業に就職し、会社の独身寮の中庭にテニスコートがありました。このコートで寮の同僚や職場の先輩たちと始めた軟式テニスとの出会いです。
- ② 数年後、大阪から埼玉へ転勤した頃から、企業内の人材交流や人材育成、社内活性化を目的とした全社スポーツ交流（国内7工場、拠点営業など含めた対抗戦）でテニス、野球、サッカーなどクラブ活動交流が盛んな時期でした。当時30歳、軟式テニス全社大会で私は後衛、前衛のパートナーに恵まれなんと個人戦で優勝してしまいました。運動神経まるでダメな私の快挙でした。企業内の交流で人脈も広がりました。現在の社長がこの時の決勝の相手でも今も私的交流が有るのも嬉しい思い出です。入社以来1つの企業で仕事を続けて来たテニスの繋がりは良い思い出です。その後、軟式が下火になり硬式テニスを始めましたが転勤などでテニスをする環境から少し遠退いていました。当地で定年、そして退職、生活環境が一変しましたが、再び硬式テニスとの出会いがライフワークの柱になってしまいました。
- ③ 美里町の「ジョイフルテニスごごたクラブ」の存在を知り一昨年の4月入会しました。クラブの特徴などはここでは控えますが、クラブでの定期練習は4月～11月までは（火）（木）（土）の週3回、冬期は、インドアで（火）（金）の週2回、午前9時から12時までと非常に恵まれた環境です。テニスは、一向に上達しませんが、身体を動かすこととクラブの皆さんとお付き合いも楽しく、クラブの名前とおりに“Joyful”しています。現在テニスはライフワークと健康維持の柱になっています。

一昨年の暮れ「みやぎいきいきテニス連盟」の交流会（松島）への参加から、平成22年度会員登録させて頂きました、テニスを通じたお付き合いの広がりをお願いしたいと思います。今後とも宜しくお願いします。

千葉 幸良

- ① 昭和26年中学（釜石一中→宮古二中）から昭和28年高校（宮古高→一関二高）昭和30年まで。中学の時は、部活の顧問が女子の先生で、このオナゴ先生が滅法強くなんとか勝ちたくて猛練習に励みましたが卒業まで太刀打ち出来ませんでした。後で聞いた事ですが岩手の女子代表選手（大井先生）との事でした。高校での部活は、中学の時程練習に身が入りませんでした。以来テニスは縁がありませんでしたが平成8年に退職して平成9年町の広報で今所属しているジョイフルテニスクラブに入会して初めて硬式テニスにふれて以来今日まで続いています。健康に注意し妻の協力を得ながら80才→90才まで頑張りたいと思います。
- ② 入会して最初に言われた一言。長く続ける秘訣は『フォームを大事にする事』当時の石川会長より手取り足取りフォームをみて貰い現在まで続いています。
- ③ 所属するクラブは週3回（4月～11月）週2回（12月～3月）の練習が出来ます。練習の合間にはコーヒタイムもあり楽しい時間を過ごしています。
- ④ 会員の皆さんもクラブに所属されていると思いますが練習方法とかその他色々とお会い出来た際聞かせて戴ければ幸いです。

木幡 栄子

昨年の6月に体験で参加させていただき、その日に入会を申込んで帰りました・

- ① 2年前、近くにテニススクールが出来たので運動不足と退職後の暇つぶしと思って始めました。
- ② 職場のレクリエーションで数回硬式テニスをしましたが、空振り・ホームラン等でボールを打つよりボール拾いに時間がかかりました。球技は苦手なので人数合わせに誘われるぐらいで、今回テニスを始めたことが自分でもビックリしています。
- ③ スクールでは、汗をかけばいいと思ってレッスンを受けていたのでゲームの楽しさが分かりませんでした。今回、へたですがゲームの一つでも決めることが出来るともっと頑張ろうという気持ちと学生の頃のように無心にボールを追いかけている自分がいました。さらに3ゲームで一万歩程の運動量があったことにも満足しています。テニスの楽しさがわかりかけて来ました。
(相手をして下さった皆様に感謝です)
- ④ ミスばかりしている初心者ですがペアの方や対戦ペアの方たちに「最初はみんな同じ」「ゲームの回数をこなすことだよ！」と声掛けをしていただき気持ちがすこし楽になりました。これから少しずつでも足を引っ張らないようにしたいと思いますのでよろしくお願いします。

佐藤 善雄

- ① 昭和46年大学に入学して間もなく、友人に誘われてテニス部に入りました。新人生歓迎コンパ会場で酒を飲んだ直後に急性アルコール中毒症状が現れ衝撃を受けました。初めての合宿では第一日目の夜、発熱のため急ぎよ帰宅しました。自分の健康に不安を抱えながらテニスに打ち込んだ学生時代が懐かしく思い出されます。
- ② 社会人になり、暫くの間テニスをやらなかったので池袋のテニススクールに入会しました。ここで、テニスの面白さに目覚めて週3回の通ったことは良い思い出になっています。そこで知り合った人達から声を掛けられてテニスサークルに入りました。このサークルの運営に助力しましたが手作りの良さに感激したのを覚えています。その後大学テニス部の先輩に紹介されて石神井ローンテニスクラブに入会しました。テニスの上手な会員が沢山いて自分も上手になりたいと思いました。それから入会した府中テニスクラブ男子ダブルス大会で幸運にも優勝することができました。これは偏に仲のいい相手のお蔭であると思っています。社会人生活の最後に入会した世田谷のテニスクラブでは、個人的に親しくなった御夫婦と現在もお付き合いしています。自分にとって掛け替えのない存在であります。
- ③ 退職して、故郷の塩釜に戻り、泉パークタウンテニスクラブに入会しました。このクラブの会員である高橋捷夫さんの紹介で、みやぎいきいきテニス連盟にも入会することができて活動するのが楽しみです。

- ④ テニスというスポーツをやったお蔭でたくさんの友人ができました。その人達から学んだ事を今後の人生に生かして行きたいと思う今日此の頃です。

島田 啓子

忙しくて、今年は一度も参加できませんでした。来年度はぜひ参加したいと思っております。

- ① 60才過ぎて昔に少し行ったスキーを再開しました。春になって何かしようかと思いテニスを始めました。
- ② 始めてはみたものの、「とんでもない事を始めた」と思いました。全然打てないのです、幸いに入ったクラブが皆さん暖かい日で見に来て、私の存在を許してくれたのです。
- ③ 私にとってテニスは、プレー中やウェイト中の会話がとても楽しみでした。でもテニスは、上手でなければ楽しくないし、年を重ねては、やって行けない事に気がつきました。
- ④ クラブを幾つかはしごして、レッスンも受けました。色々なクラブに所属して、皆楽しいですが、やはり同年代（60才以上）の女性達とも、プレーしたいと思っています。冬は、スキーをしておりませんので、無雪期だけの参加になりますが、私でも入れるような会がありましたらぜひ御紹介して下さい、よろしくお願いします。

千田 正義

- ① 中学時代は運動部に所属してなく、高校に入ったら運動部に入りからだを鍛えようと思っていた。私はきやしゃな体であるため、大きな体格が有利なスポーツはあきらめ、全運動部のリストを消去法で残ったのが卓球であった。友人に卓球部に入ることを相談したところ、友人は『卓球部は中学からの選手が多く、千田君では選手になれない。その点テニスは軟式をやった連中はいるけれど、硬式テニスは皆初めてで同じスタートラインにつける。それにテニス部は宮城県に4校しかやっていないので頑張れば「高体連」に選手として出場ができる可能性がある。背が低くとも関係ないスポーツだ。又卓球部は薄暗い隅の体育館で練習してるいるが、テニスは校庭でのびのびできるスポーツである。さらに運動部に入ると千田君のきれいな放課後の応援歌練習をしなくてすむ。一緒にテニス进行しよう、これからは、テニスの時代である』となかなか説得力がある。不安ながら硬式テニス部に入部した。
- ② 一年生は玉拾いが主だったが、2～3球とストロークが続くと面白くなり、二・三年は弁当を食べにいくのと、テニスの毎日であった。テニスは徐々にうまくなったが、反比例して勉強の成績は落ちていった。なんとか「高体連」で1勝を勝ち取った。

大学にはいっても硬式庭球部に入ったが、うまい人が多く1・2年は鳴かず飛ばずだった。3年になり、テニスコートのすぐ近くが教室で休講の時またはサボってテニスをする時間が長くなり毎日相当の練習をした記憶がある。そのかいがあつてか、4年にキャプテンに推され、さらに練習により技術が向上した。個人戦ではそこそこの成績を残せたが、個人戦で勝つよりも団体戦に勝つことがはるかに喜びが大きかった。特に某大学との定期戦（現在81回の歴史）に3連敗の後の定期戦に全員一丸となって戦い6-3（1試合5セットマッチ）で勝った。夕方全部員で、暗くて、汚い部室で優勝カップにビールをなみなみついて、回し飲みした感激は今でも忘れない。今までテニスをしたうちの一番の喜びであった。学生時代にテニスで覚えた事は『練習は不可能を可能にする。それは努力と辛抱とを必要とする。したがって努力と辛抱をきらうものには真剣な練習は出来ない。』という言葉である。

就職後2～3年会社代表としてテニス試合をしたが、転勤等でテニスからゴルフに夢中になった。丁度そのころウッドのラケットから今のラケットへも移り変わった時代であった。アクシデントが起こった。45歳のとき「昔とった・・・」で会社のコートで試合をしたところ、左足アキレス腱断裂で手術した。それ以降、テニスもあまりやらず、会社のテニス部長兼監督をしていた。

- ③ 定年も近いので新ラケットで基本を覚えようとして、おとし1月泉パークタウンテニスクラブのスクール初日、こんどは右足アキレス腱断裂（スポーツジムで週3から4回ストレッチ、筋トレ、水中ウォーキング等で鍛えたにもかかわらず）テニス生命も終わりかと思われたが、リハビリ等の結果、なんとか昨年からはテニスが出来るようになった。昔私のテニスを知っている人達から「昔の面影がさっぱりないね」といわれている。テニスの練習が少ないのが主な理由であるが、やはり2度経験したアキレス腱断裂に加齢も加わり、足腰の機能低下、筋力の衰えが原因だろう。泉パークタウンテニス

クラブで週3回位テニスをしているが、帰りの車の中で今日もアキレス腱断裂しなくて楽しくテニスを出来たことに感謝しているこのごろである。

- ④ 皆様もアキレス腱断裂、肉離れ、腰痛、膝通等のケガには十分気をつけていただきたい。「みやぎいきいきテニス連盟」の目的である健康増進と相互の親睦のためにも足腰を鍛えてこれからもずっと長くテニスを続けて行きたいものです。これからもよろしく願いいたします。

小寺 美佐子

- ① 転勤で仙台に来て、軟式から硬式ラケットに持ち変えて早や四半世紀過ぎました。その頃泉市のテニス教室（泉レディース）に入ったのが始まりです。その後は、サンレディース、泉PTTCとたくさんの方々とラケットを交え、第2の青春をエンジョイしました。
- ② 若かりし頃、東急・三菱自動車杯の決勝で5対1、40-15でマッチポイントを取っていながら大逆転負けし、代表で東京の大会に行けなかった事。1ポイントの重みを痛感した。
- ③ 爽やかな汗 or 冷やかな汗を掻き、練習後の女子会(?)でのガールズ(???)トーク。
「良く喋り、良く笑う」これぞ免疫力UP、認知症予防の私の健康法である。
- ④ 健康でテニス出来る事に感謝しながら、体型とは反対に細かく、長〜く、テニスを愛し続けたいです。
これからも、いきいきテニスの皆様、お手柔らかによろしくお願いします。



鹿股 邦雄

- ① 健康のため。
- ② 友達が多くなる。
- ③ 週3回くらい練習すると体によい。

事務局からの連絡

入会・退会の手続きについて

入会希望者は、当連盟の事務局または役員に連絡して「入会申込書」と専用「年会費払込用紙」を入手し、申込み用紙に必要事項を記入して、事務局または役員に送付（直接の手渡し可）すると共に、払込用紙にて年会費（個人会員：2000円、家族会員：3000円）を振り込んでください。

年会費を振り込まれた方に、事務局より当年度の「会報」（含む：年間行事予定表・各種大会要領・大会申し込み用ハガキ・連盟規約）・会員名簿などを送付します。これで、入会手続きが終了です。

◇ 年会費を納入しませんと当連盟の各種行事に参加できません。

また、次年度の「会報」など送付されませんのでご注意ください。

退会したい場合は、ハガキまたはFAXにて事務局または役員に退会する旨連絡してください。

それで退会手続きは終了です。

あるいは、年会費を9月末までに納入しませんと退会扱いとなり、当連盟の各種行事には参加できません。また、次年度の「会報」なども送付されません。

年会費納入についてのお願い（事務局）

年会費は、この会報が届き次第、忘れない内に早めに専用の「年会費払込用紙」にて納入をお願いします。年会費納入の有無の確認手続き上、混乱を避けるため必ず払込用紙にてお願いします。現金での手渡しや会員の通帳から連盟の通帳への振込みはしないで下さい。

◇ 納入締切日（9月末）を過ぎても振込みがない場合は、その後の連盟主催の各種行事、Weekday 交歓会、東北マスターズテニス大会等に参加できません。また、連絡事項や次年度の「会報」など送付致しませんので、必ず締切日までに忘れずに納入してください。

諸行事のご案内と参加申込み方法について

当連盟主催の行事は、二つに大別されます。「予め参加申込みの必要な大会」と、その必要のない「自由参加のWeekday交歓会」です。これら「年間の諸行事」等について、4月総会のご案内時にお知らせいたします。

これら「年間の諸行事」等のうち、申込締切りが本会報の発行前となる、2大会については、「大会要領」「参加申込ハガキ」を「年間行事予定(案)」と共に、4月4日の総会のご案内時にお知らせしてあります。

総会において「年間の諸行事」「大会要領」「大会参加申込みハガキ」等が決定・確認されます。この結果を会報の「年間の諸行事」「大会要領」「大会参加申し込みハガキ」としてお届けいたします。

予め参加申込みの必要な大会に参加の方は、大会要領をよくご覧になり、行事名・開催期日・会場・時間・参加費・申込み方法・申込締切日等を確認のうえ、私製「申込みハガキ」(50円切手を貼る)又は「官製ハガキ」に必要事項を記入して、必ず締切期日までに届くよう投函してください。

1. 予め参加申込みの必要な大会

これらの大会には、下記に示すように、原則としてパートナーと「ペア」で申込む大会と「単独」で、申込む大会がありますので、各大会の要領をよく見て申込んでください。単独で申込む大会の場合のペアや組合せは、年齢や技量を勘案して役員会で決めることとなります。

○県春季・秋季テニスマスターズ大会【ペア】	○東北マスターズ大会(青森)【ペア】
○県南・県北交流会【単独】	○技量別ダブルス大会【ペア】
○春季連盟祭り(団体戦)【単独】	○秋季連盟祭り【単独】
○年齢別ダブルス大会【ペア】	○冬季混合ダブルス大会【単独】
○混合ダブルス大会【ペア】	○新春連盟祭り【単独】
○対いわきVTC親善交流大会【単独】	○年齢別室内ダブルス大会【単独】

◇各行事の申込締切日は、それぞれの「大会要領」や「年間行事予定表」に記載されていますので、忘れないようにご注意ください。

◇参加、不参加の混乱を避けるため、申込は、本人が私製「申込みハガキ」で行ってください。家族会員の方は連名で結構です。

◇雨天時で開催期日または会場が変更された場合等のご案内は、別途お知らせします。

2. 自由参加のWeekday交歓会

交歓会は、従来どおり自由参加とし、時間は、午前10時から午後5時までです。都合の良い時間にお誘い合わせの上ご参加ください。会場は、次ページの「年間行事予定表」に示してあるように、4つの会場を使用します。参加費は500円です。

なお、試合方法は、連盟の趣旨(会員相互の交流・親睦を深め、健康の維持増進に努める)を踏まえ、試合毎に出来るだけ、パートナーや対戦相手を変える方法で行うよう、ご協力お願いします。新入会の方や会員に知り合いの少ない方、体力や技量などに少々自信がなくて知らない人との試合は、どうも・・・と思っている方も、気を楽に持って参加してください。パートナーや対戦相手で不安でしたら、当日の担当役員に申し出てください。出来るだけ意に沿うように努めたいと思います。

◇連盟主催の大会の他に、宮城県テニス協会、東北テニス協会が主催する、

- ・春季トーナメント(4月)・東日本オープンベテラン(5月)・国体予選(6月)・県体シングルス(7月)
- ・県シングルス選手権(8月)・東北ベテラン(8月)・秋季県テニス選手権(9月)・県体ダブルス(10月)
- ・室内選抜ダブルス(1月)

があります。詳細について、県テニス協会または青木 興一(県テニス協会常任理事:251-6411)まで、お問合せください。

関連テニス協会の連絡先

仙台市テニス協会	022-2234-4592	981-0913	仙台市青葉区昭和町4-9-303	事務局
宮城県テニス協会	022-292-1300	983-0852	仙台市宮城野区榴岡2-2-8	〒1201
東北テニス協会	0178-37-3132	031-0081	青森県八戸市柏崎2-4-17	fax0178-73-3036
日本テニス協会	03-3481-2321	150-8050	東京都渋谷区神南1-1-1	岸記念会館4F

平成23年度年間行事予定

開催日	行事名	会場	申込み締切日
5月14日(土)	年齢別ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	5月4日必着
5月26日(木)	Weekday 交歓会	七北田公園コート(5面)	自由参加
6月16日(木)	Weekday 交歓会	泉総合運動場(6面)	自由参加
7月2日(土)	混合ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	6月22日必着
7月12日(火)	Weekday 交歓会	南インターTC(4面)	自由参加
8月22日(月)	Weekday 交歓会	泉パークランドテニスクラブ(5面)	自由参加
9月17日(土)	技量別ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	9月7日必着
9月21-22日 (水・木)	第21回東北マスタース テニス青森大会	青森テニスコート (人工芝20面)	7月20日必着
9月27日(火)	Weekday 交歓会	七北田公園コート(5面)	自由参加
10月15-16日 (土・日)	対いわきVTC親善大会	平テニスコート(6面) 新舞子ハイツコート	8月20日必着
10月17日(月)	Weekday 交歓会	泉総合運動場(6面)	自由参加
10月28日(金)	県南 交流会	杉本パークランド蔵王(遠刈田)	10月20日必着
11月12日(土)	秋季連盟祭り(団体戦)	七北田公園(8面)	11月2日必着
11月17日(木)	Weekday 交歓会	泉総合運動場(6面)	自由参加
12月2日(金)	Weekday 交歓会	七北田公園コート(5面)	自由参加
12月14日(水)	冬季混合ダブルス大会	シェルコムせんだい(6面)	12月4日必着
1月18日(水)	新春連盟祭り(団体戦)	シェルコムせんだい(6面)	1月8日必着
2月15日(水)	年齢別室内ダブルス大会	シェルコムせんだい(6面)	2月5日必着
3月22日(木)	Weekday 交歓会	七北田公園(5面)	自由参加
3月28日(水)	団体戦(総会)	シェルコムせんだい(6面)	3月18日必着

- 4月行事及び県北交流会が今年度は中止となります。
- 上記中、網掛けで書かれた行事に参加する場合は、前もって申し込みが必要です。詳細：大会要領
- 上記の諸行事の他に、下記の大会も開催されます。こちらの方にもご参加いただけます。
(男女共60歳以上が対象です)

開催日	行事名	会場	申込み締切日
10月2日(日)	仙台市高齢者いきがい健康祭	七北田公園コート	9月18日必着
11月27日(日)	宮城県テニスマスタース秋季大会	七北田公園コート	11月18日必着

- 宮城県テニスマスタース春季・秋季大会は、『ねりんピック宮城県代表の選考会』を兼ねており、昨年の秋と春の「県テニスマスタース」の成績により、23年の選手が推薦されます。
今年秋の「県テニスマスタース大会」は、24年の選手選考の参考大会となります。
- 仙台市高齢者いきがい健康祭りは24年『ねりんピック仙台市代表の選考会』の大会となります。
詳しい案内は「市政だより」8月号に掲載されます。応募要領は、市民センター・体育館・スポーツ施設・コミュニティーセンター等に置いてあります。
までお願いします。

平成23年度主要大会要項

年齢別ダブルス大会要項

期 日：5月14日（土） 9：00～17：00 ※8：45までに集合

会 場：七北田公園コート（オムニ8面）

種 目：【女子】110歳以上、120歳以上、130歳以上

【男子】120歳以上、130歳以上、140歳以上 【女子・男子】シニアクラス

注：シニアクラス参加資格：原則70歳以上とする〔平成24年4月1日現在の満合計年齢〕

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式

参加費：1200円/人（当日、会場で徴収します）

表 彰：各種目、優勝・準優勝・3位まで表彰（参加数により変更）。お楽しみ抽選会（表彰者の除く）。

参加申込：所定の「申込ハガキ」または「官製ハガキ」にパートナー等、必要事項を明記して、申込んでください。過去に優勝した組は、パートナーを替えるか、若い年齢種目に出場してください。
尚、単独での申込みも可能ですが、パートナーは、ご一任ください。

申込受付：4月14日～締切日＝5月4日必着

混合ダブルス大会要項

期 日：7月2日（土） 9：00～17：00 ※8：45までに集合

会 場：七北田公園コート（オムニ8面）

種 目：【混合ダブルス】Aクラス・Bクラス・Cクラス・シニアクラス

注：シニアクラス参加資格：原則70歳以上とする〔平成24年4月1日現在の満合計年齢〕

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式

参加費：1200円/人（当日、会場で徴収します）

表 彰：各種目、優勝・準優勝・3位まで表彰（参加数により変更）。お楽しみ抽選会（表彰者の除く）。

参加申込：所定の「申込ハガキ」または「官製ハガキ」に必要事項を明記して、申込んでください。
過去に優勝した組は、パートナーを替えるか、上位のクラスに出場してください。
尚、単独での申込みも可能ですが、パートナーは、ご一任ください。

申込受付：6月2日～締切日＝6月22日必着

技量別ダブルス大会要項

期 日：9月17日（土） 9：00～17：00 ※8：45までに集合

会 場：七北田公園コート（オムニ8面）

種 目：【技量別ダブルス】

女子＝Aクラス・Bクラス・Cクラス

男子＝Aクラス・Bクラス・Cクラス

女子・男子＝シニアクラス

※シニアクラス参加資格：原則70歳以上とする〔平成24年度4月1日現在満年齢〕

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式

参加費：1200円/人（当日、会場で徴収します）

表 彰：各種目、優勝・準優勝・3位まで表彰（参加数により変更）。お楽しみ抽選会（表彰者の除く）。

参加申込：所定の「申込ハガキ」または「官製ハガキ」に必要事項を明記して、申込んでください。
過去に優勝した組は、パートナーを替えるか、上位のクラスに出場してください。
単独での申込みも可能ですが、パートナーは、ご一任ください。

申込受付：8月17日～締切日＝9月7日必着

東北マスターズテニス大会（青森）要項

第21回を数える東北マスターズテニス大会の詳細は、青森県シニアテニス協会事務局より送付される開催要領待ちとなりますが、現時点で判明している範囲内のご案内となります。

期日：23年 9月21日（水）・22日（木）

会場：青森県

種目：【女子】110歳以上・120歳以上・130歳以上・140歳以上（150歳以上）

【男子】120歳以上・130歳以上・140歳以上・150歳以上（160歳以上）

※平成24年4月1日現在の満合計年齢

男子80歳以上・女子75歳以上は、単独の申込み可。それぞれ3組以上で成立。

優勝ペアは、3年間同一ペアでの参加ができません。

参加費：3000円、宿泊費12000円（懇親会含む）、弁当代1600～2000円を予定。

宿泊場所：未定

参加申込：氏名・住所・電話番号を記入し、所定の「申込ハガキ」で下記あて申込みください。

申込受付：6月20日～7月20日必着

対いわきVTC親善大会要項

第25回親善交流大会は、今年いわきVTCが担当となります。現在、準備進行中ですが判明している日程を中心にご案内をいたします。

期日：10月15日（土）・16日（日） 会場：平テニスコート（オムニ6面）予定

参加費：15000円（宿泊、懇親会、コート代含む）予定

参加申込：所定の「申込ハガキ」または「官製ハガキ」に必要事項を明記して申込んでください。

参加申込者に、集合場所・集合時間・解散時間等の詳細について後日、ご連絡いたします。

宿泊場所：いわき新舞子ハイツ（予定）

申込受付：8月1日～締切日＝8月20日必着

県南 交流大会要項

期日：10月28日（金）10:00～15:00

会場：サンスポーツランド蔵王（オムニ4面）

試合方法：男子・女子・混合のダブルス対抗戦

参加費：700円（お釣りの要らないようにご用意ください）

参加申込：氏名・住所・電話番号を記入し「官製ハガキ」または「FAX」で、下記あて申込みください。

多数の場合は、締め切らせていただき、その旨をFAXにて返信しますのでご了承ください。

（単独の申込みとなります）

秋季連盟祭り（団体戦）要項

期日：11月12日（土）9:00～17:00 ※8:45までに集合

会場：七北田公園テニスコート（オムニ8面）

種目：女子・男子・混合のダブルスによる団体戦

試合方法：参加者全員を4チームに分けて、女子・男子・混合各ダブルスペアの種目別団体戦。

参加費：1000円/人(当日、会場で徴収します。)

表彰：各チーム毎の成績を集計し、優勝・準優勝・敢闘賞の順に、表彰と賞品の授与があります。

参加申込：所定の「申込ハガキ」または「官製ハガキ」に必要事項を明記して、申込んでください。
(単独申込となります)

申込受付：10月12日～締切日＝11月2日必着

冬季混合ダブルス大会要項

期 日：12月14日(水) 9:00～17:00 ※8:45までに集合

会 場：シェルコムせんだい(オムニ6面)

種 目：【混合ダブルス】Aクラス・Bクラス・Cクラス・シニアクラス

注：シニアクラス参加資格：原則70歳以上とする[平成24年4月1日現在の満合計年齢]

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。パートナーは、1回ごとに替えるものとします。
尚、パートナーは、役員会にご一任ください。

参加費：700円/人(当日、会場で徴収します、賞品はありません)

参加申込：所定の「申込ハガキ」または「官製ハガキ」に必要事項を明記して、申込んでください。
(単独申込となります)

申込受付：11月14日～締切日＝12月4日必着

新春連盟祭り(団体戦)要項

期 日：1月18日(水) 9:00～17:00 ※8:45までに集合

会 場：シェルコムせんだい(オムニ6面)

種 目：女子・男子・混合のダブルスによる団体戦

試合方法：参加者全員を4チームに分けて、女子・男子・混合の各ダブルスペアーをつくり、種目別の団体戦を行います。

参加費：700円/人(当日、会場で徴収します、賞品はありません)

参加申込：所定の「申込ハガキ」または「官製ハガキ」に必要事項を明記して、申込んでください。
(単独申込となります)

申込受付：12月18日～締切日＝1月8日必着

年齢別室内ダブルス大会要項

期 日：2月15日(水) 9:00～17:00 ※8:45までに集合

会 場：シェルコムせんだい(オムニ6面)

種 目：【女子】55歳以上、60歳以上、65歳以上

【男子】60歳以上、65歳以上、70歳以上

【女子・男子】シニアクラス ※シニアクラスの参加資格は、原則70歳以上とする。

年齢は、平成24年4月1日現在の満年齢。

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式

パートナーは、1回ごとに替えるものとします。なお、パートナーは役員会にご一任ください。

参加費：700円/人(当日、会場で徴収します、賞品はありません)

参加申込：所定の「申込ハガキ」または「官製ハガキ」に種目区分を明記して、各自単独で申込んでください。(単独での申込みとなります)

申込受付：1月15日～締切日＝2月5日必着

春季連盟祭り（団体戦・総会）要項

期 日： 3月28日（水） 9：00～17：00 ※8：45までに集合

会 場：シェルコムせんだい（オムニ6面）

種 目：女子・男子・混合のダブルスによる団体戦

試合方法：参加者全員を4チームに分けて、女子・男子・混合の各ダブルスペアをつくり、種目別の団体戦を行います。当日に連盟の総会が開催されますので、多くの方々のご参加をお願いします。

参加費：500円/人（当日、会場で徴収します。賞品はありません。）

参加申込：所定の「申込ハガキ」または「官製ハガキ」に必要事項を明記して、申込んでください。
（単独申込となります）

申込受付：2月28日～締切日＝3月18日必着

宮城県テニスマスターズ（秋季）大会要項

宮城県テニス協会主催の「ねんりんピック選手選考」を兼ねた大会です。春季大会の結果は、23年10月開催の「ねんりんピック熊本大会」の選手選考の資料となります。秋季大会の結果は、24年秋の「ねんりんピック宮城大会」の選手選考の資料となります。

「ねんりんピック」に出場を希望される会員は、是非ご参加ください。この大会に限り、県テニス協会への「個人登録」は、必要ありません。いきいきテニス連盟に加入していない人も参加できます。

開催種目：【女子】55歳＋、60歳＋、65歳＋ 【男子】60歳＋、65歳＋、70歳＋

ただし、出場組が3組に満たない種目は、実施されません。

参加費：1000円/人（当日、納入願います）

参加申込：大会名・住所・氏名・年齢・パートナー名（年齢・住所）を官製ハガキに明記して、下記あてに申込んでください。県テニス協会あての直接の申込みも可能です。

【秋季大会】

期日：23年11月27日（日）9：00～

会場：七北田公園テニスコート（オムニ8面）

申込締切：11月18日必着

年齢：平成25年4月1日現在の満年齢



逝去された会員

村上 和夫
北島 さと
石垣 晴子
菅野 義治
伊藤 一利
神松 伊三郎
岡崎 孝治

謹んでご冥福をお祈りいたします。



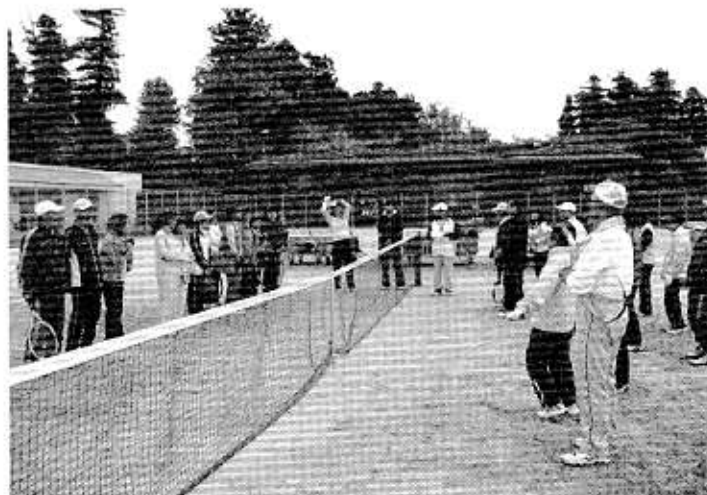
平成22年度行事実績

期 日	行 事 名	会 場	参加者 (22年)	参加者 (21年)
4月22日(木)	Weekday 交歓会	七北田公園	雨天中止	45
4月30日(金)	春季連盟祭り(団体戦総会)	シェルコムせんだい	96	92
5月12日(水)	Weekday 交歓会	七北田公園	雨天中止	38
5月22日(土)	年齢別ダブルス大会	七北田公園	78	82
6月17日(木)	Weekday 交歓会	泉総合運動場	51	55
7月13日(火)	Weekday 交歓会	南インター	37	36
7月26日(月)	混合ダブルス大会	泉パークタウン	88	90
8月16日(月)	Weekday 交歓会	泉パークタウン	40	66
9月16日(木)	Weekday 交歓会	七北田公園	雨天中止	41
10月15日(金)	Weekday 交歓会	泉総合運動場	雨天中止	31
10月23日(土)	技量別ダブルス大会	七北田公園	88	76
11月 6日(土)	秋季連盟祭り(団体戦)	七北田公園	82	94
11月18日(木)	Weekday 交歓会	七北田公園	47	28
12月15日(水)	冬季混合ダブルス大会	シェルコムせんだい	61	70
1月 7日(金)	新春連盟祭り(団体戦)	シェルコムせんだい	66	86
2月 9日(水)	年齢別室内ダブルス大会	シェルコムせんだい	58	86
3月23日(水)	Weekday 交歓会	七北田公園	震災中止	31

平成22年度対外関係行事実績

期 日	行 事 名	会 場	参加者 (22年)	参加者 (21年)
4月 9日(金)	第1回県南交歓会	グリーンピア岩沼	35(南18)	28(南22)
4月24日(土)	県テニスマスターズ春季大会	シェルコムせんだい	30組(60)	28組(56)
8月 6日(金)	第2回県南交歓会	サンスポーツランド蔵王	37(南16)	30(南16)
9月25日(土)	対いわきVTC	グリーンピア岩沼	(みやぎ45)	(みやぎ26)
26日(日)	親善大会		(いわき21)	
9月30日(木)	第3回県北交歓会	松島運動公園	36(北17)	60(北35)
10月 6日(水)	東北マスターズ	秋田県立中央公園	みやぎ(男10)	72(女38男34)
7日(木)	テニス大会		(女4)	
10月10日(日)	ねんりんピック	石川県西部緑地公園	宮城6 仙台7	宮城6 仙台7
11日(月)	いしかわ大会			
11月19日(金)	第4回県南交歓会	グリーンピア岩沼	34	なし
11月21日(日)	県テニスマスターズ秋季大会	七北田公園	33組(66)	28組(56)

その他、「仙台市高齢者いきがい健康祭りテニス大会」、県テニス協会主催行事、東北テニス協会主催行事、日本テニス協会主催行事、日本シニア連盟主催行事等に会員諸氏が参加され、日頃の練習の成果を存分に発揮され大活躍をされましたのでご報告いたします。



平成22年度決算

平成23年度予算

みやぎいきいきテニス連盟規約

〈 総 則 〉

第1条 (名 称)

本会はみやぎいきいきテニス連盟と称する。

第2条 (会 員)

本会は次に掲げる正会員、特別会員及び賛助会員を以て構成する。

- ・正会員：宮城県内に居住または勤務する、男子60歳以上、女子55歳以上のテニス愛好者とする。但し、正会員が県外に転出した場合は、本人の希望により正会員の資格を継続することが出来る。
- ・特別会員：正会員の中で80歳以上の会員を特別会員とする。
- ・賛助会員：本会の趣旨に賛同し、本会の活動を支援する個人及び団体とする。

第3条 (目 的)

本会はテニスを通じて、会員の健康増進と相互の友好を図ることを目的とする。

第4条 (活動内容)

本会はその目的を果たすため次の活動を行う。

- (1) テニス大会
- (2) テニス練習会
- (3) 会報の発行
- (4) その他、本会の趣旨に沿い役員会にて企画されたこと。

〈 会 計 〉

第5条 (事業年度)

本会の事業年度は、4月1日に始まり翌年の3月末日に終わる。

第6条 (活 動 費)

本会活動に必要な経費は、正会員が納める年会費と、大会・練習会ごとに徴収する参加費及びその他の寄付金を以てあてる。

第7条 (会 費)

正会員は、年会費を納めなければならない。但し、特別会員は、これを免除される。年会費は総会で定める。

第8条 (予算・決算)

役員会は、年度末に翌年度における諸活動の実行計画及びそれに伴う予算案並びに、当年度の決算案を作成し、総会の承認を得なければならない。

第9条 (緊急・臨時支出)

当年度の予算案に提示されていない緊急・臨時の費用については、役員会の議を経て支出することが出来る。但し、この場合においては次の総会に報告し、総会の承認を得なければならない。

第10条 (会費納入期限)

会費の納入期限は、毎年9月末とする。納入

なき場合は休会扱いとし、以後の通信連絡は行わない。年度内に納入なき場合は退会扱いとする。

〈 役員・役員会・総会 〉

第11条 (役 員)

本会の活動を組織的に実行するために必要数の役員を置く。役員の任期は2年とし、前年度の総会において選出する。再任または重任は妨げない。各役員は、第12条に示す会務に就く。

- ・会 長：役員の互選によって会長1名を選任する。会長は本会を代表すると共に、第12条に定める役員会を招集しその議長となる。
- ・副会長：副会長は、役員の中から1ないし2名を会長が指名する。副会長は会長を補佐し会長に事故ある時はその役を代行する。
- ・会計監事：2名の会計監事を前年度の総会において選出する。会計監事は会計役員の行う業務の監を行う。任期は2年とし、再任または重任を~~お~~げないが、原則として引き続いて3年を越えることは出来ない。

第12条 (役 員 会)

役員会は、役員会で定めた専門部会と事務局をもって構成し、本会の諸活動を具体的に企画実施するための協議を行うと共に会務を掌理する。

第13条 (総 会)

総会は、全会員で構成し、本会の活動方針の大綱を定め、役員会が提示する活動計画案・予算案及び活動報告案・決算案を審議する。総会は会員の十分の一以上の出席によって成立する。なお、委任状を以て出席に代えることが出来る。

第14条 (事 務 局)

本会の事務を処理するために事務局を置く。事務局は、会員の動向・連絡調整・会計等の務を掌理する。
事務局所在地は、事務局(長)担当者宅とする。

〈 付 則 〉

第15条 本規約に定める他、本会の具体的な企画実施に必要な細則は役員会で定めるものとする。

第16条 本規約の改正は総会の議決による。

〈 細 則 〉

第17条 平成14年12月現在、60歳未満の男子会員及び55歳未満の女子会員は正会員として当連盟に留まることが出来る。年齢別大会等の実施内容については、その時点の状況を考慮して、役員会において検討を行い善処する。

(平成8年3月26日改正)

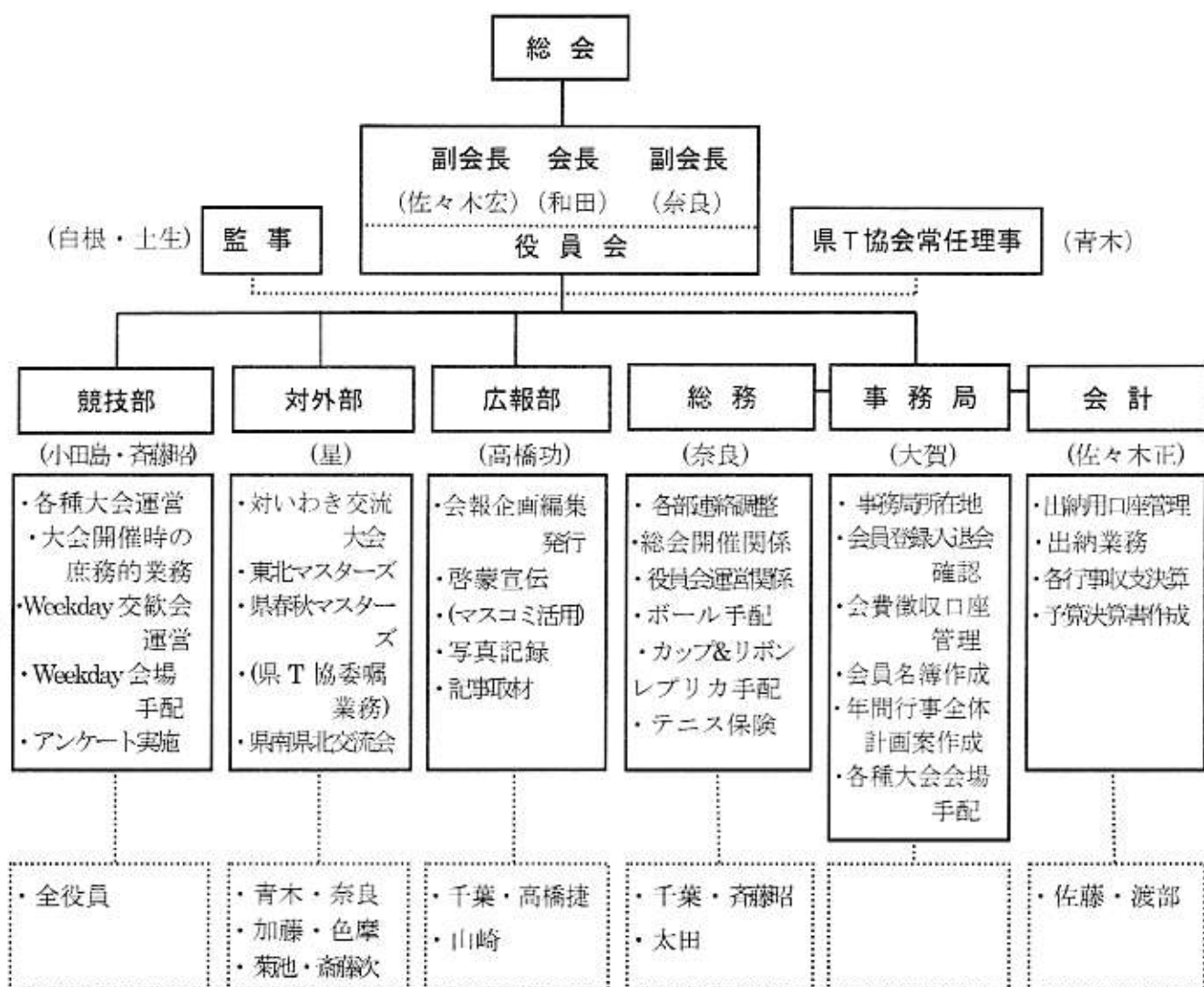
(平成9年12月6日改正)

(平成14年12月7日改正)

(平成15年12月6日改正)

(平成21年1月9日改正)

平成23年度 みやぎいきいきテニス連盟組織体制



編集後記

- ◇「東日本大震災」で被害を受けた会員へお見舞い申し上げます。3・4月行事と総会が中止となり、会報により会員との情報連絡を行うこととなりました、ご理解と協力をお願いいたします。
- ◇会報第42号を4月にお届けできました、会員の皆様のご協力のおかげです、ありがとうございます。平成22年度は、大会およびWEEKDAYアンケート調査を行い、会員の声を聞くことができました、この結果が平成23年度行事に反映され、連盟が少しずつ進歩していると感じました。
- ◇大会初優勝者の感激！を书面インタビューができて、巧プレイヤーの声を記事にできました。この声を参考にして、私達もさらにレベルアップとテニスを楽しみたいと思いました。
- ◇「東北マスターズ大会」「ねんりんピック」に参加しての原稿を編集していたら、東北マスターズ大会・ねんりんピックは、どんな内容なのかな？と知りたくなりました。青木さんの協力で「ねんりんびっくとは！」を掲載することができました、「ねんりんピック」を知っていただければ幸いです。次号は、「東北マスターズ大会とは！」を掲載できればいいな・・・と考えています。
- ◇平成22年度の連盟入会者は19名です、このテニス熱中人に书面インタビューができました。この初心の声を「連盟活動」に活かせればと願っています。

編集発行 みやぎいきいきテニス連盟役員会